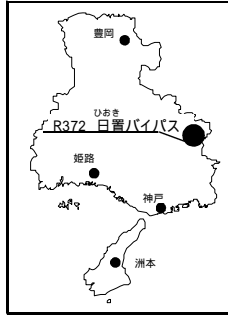
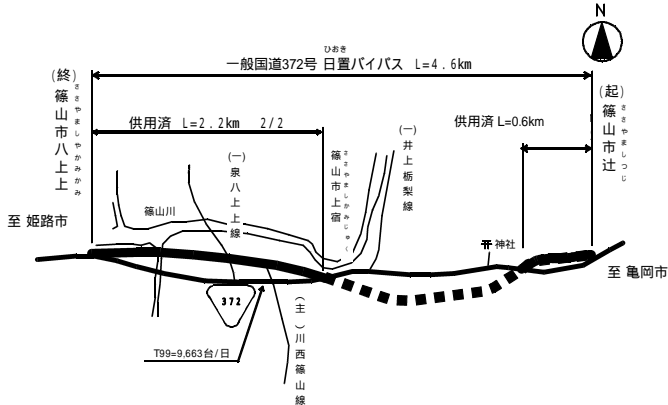


## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：国道・防災課

担当課長名：鈴木 克宗

事業名：国道372号道路改築事業 日置バイパス		事業区分：一般国道	事業主体：兵庫県
起終点：自：篠山市辻 至：篠山市八上上		延長：4.55km	
事業概要：一般国道372号は、京都府亀岡市を起点とし、兵庫県姫路市に至る延長約104kmの幹線道路である。日置バイパスは、幅員狭小区間の解消を目的とした、兵庫県篠山市辻から同市八上上に至る延長4.6kmの2車線道路である。			
H8年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H9年度用地着手	H9年度工事着手
全体事業費	33億円	事業進捗率	98%
計画交通量	8,900台/日		
費用対効果 分析結果	B / C (事業全体) 2.4  (残事業) 22.8	総費用：(残事業)/(事業全体) 5/44億円 事業費：0/39億円 維持管理費：5/5億円	総便益：(残事業)/(事業全体) 107/107億円 走行時間短縮便益：100/100億円 走行費用減少便益：6/6億円 交通事故減少便益：0.4/0.4億円
基準年：平成17年			
感度分析の結果			
事業の効果等 国土・地域ネットワークの構築（大型車のすれ違い困難区間の解消） 災害への備え（兵庫県地域防災計画及び緊急輸送道路ネットワーク計画に位置づけがある） 他5項目 関係する地方公共団体等の意見			
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等			
事業の進捗状況、残事業の内容等 H8年度から西工区に着手、H11年3月に約2.2kmを供用（西工区概成） H11年度から東工区に着手、H17年3月に起点側約0.6kmを供用			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収率は91%を越えており、早期事業効果を発現するために、土地収用法に基づく事業認定手続きを進めており、H18年度前半までに用地買収を完了させる。			
施設の構造や工法の変更等 東工区の自転車歩行者道計画の見直し（両側 片側）等を行った。			
対応方針			
対応方針決定の理由：事業進捗が約98%であり、H18年度完成の見込みが立っていることから、継続して事業を実施する必要がある。			
事業概要図			
			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。